

第 110 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

1 日目 【一般問題（薬学理論問題）】 問 119

問 119 細菌毒素に関する記述として、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 リポ多糖は、グラム陰性菌外膜の構成成分であり、多糖部位に免疫刺激作用がある。
- 2 スーパー抗原は、B細胞受容体と非特異的に結合して抗体産生を抑制する。
- 3 ストレプトリジン O は、化膿レンサ球菌から産生され、コレステロールと結合して宿主の細胞膜に孔をあける。
- 4 ベロ毒素は、百日咳菌から産生され、咽頭粘膜と結合して偽膜を形成する。
- 5 破傷風毒素は、運動神経の終末部から取り込まれ、脊髄まで運ばれる。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解があるため。

第 110 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

2 日目 【一般問題（薬学実践問題）】 問 331

問 331 68 歳男性。身長 174 cm、体重 93 kg。既往歴として高血圧、脂質異常症、心房細動。薬物アレルギー歴無し。12 時頃、ゴルフ中に突然倒れた。救急隊到着時、本人から発語は見られていたが、次第に会話が困難になった。救急搬送時（14 時）、頭部 MRI で左中大動脈領域に梗塞巣を認め、各種所見から心原性脳梗塞と診断された。また大動脈解離、急性膵炎は否定され、その他、心弁膜症、臓器出血の合併は認められなかった。

（搬送時の検査値）

血圧 162/102 mmHg、血糖 130 mg/dL、LDL-C 110 mg/dL、
HDL-C 60 mg/dL、TG（トリグリセリド）130 mg/dL、
eGFR 75 mL/min/1.73 m²、PT-INR 0.97、AST 18 IU/L、ALT 19 IU/L、
APTT（活性化部分トロンボプラスチン時間）26 秒（基準値：25～32 秒）、
血小板 $25 \times 10^4/\mu\text{L}$

救急担当薬剤師が今後の治療について医師との共有事項として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 ヘパリンナトリウムの静脈内投与による急性期治療
- 2 予後改善効果を目的とした急性期におけるエダラボン投与
- 3 脳浮腫が出現した場合のトルバプタン投与
- 4 発症早期における新たな血栓防止のための抗血小板療法の開始
- 5 急性期における DOAC（直接阻害型経口抗凝固薬）の使用

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解があるため。